

中期経営計画期間における配水状況・財務状況

令和元年10月
(平成30年度実績)

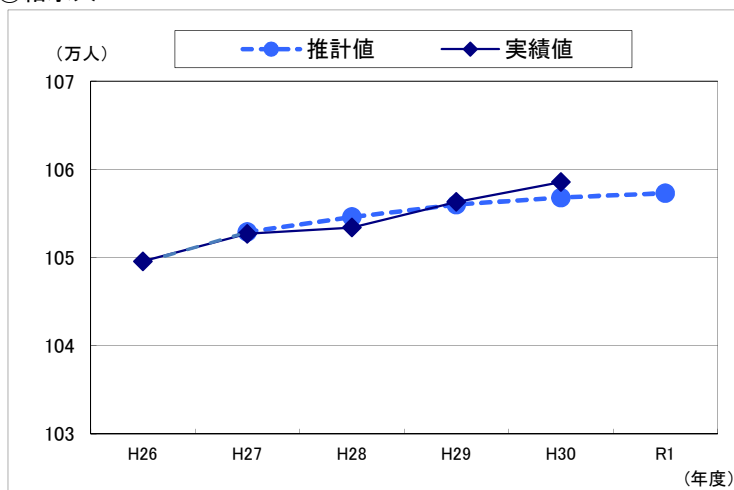
1. 配水状況

【1】配水実績と計画

項目	年度	【参考】	中期経営計画期間				
		計画前年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		平成26年度	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)
給水人口 (人)		1,049,573	1,052,692	1,053,406	1,056,300	1,058,549	
一日平均配水量 (m ³ /日)		328,294	328,626	328,139	329,145	329,586	
一日最大配水量 (m ³ /日)		363,807	365,543	356,781	358,848	359,172	
年間総配水量 (m ³)		119,827,165	120,276,944	119,770,700	120,138,044	120,298,943	
年間有収水量 (m ³)		112,856,490	113,353,413	113,429,031	113,534,750	113,500,467	

【2】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

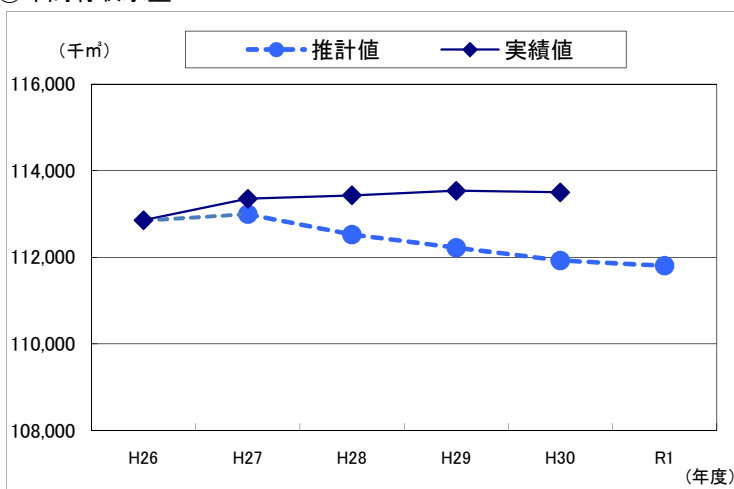
①給水人口



平成30年度実績値は推計値を1,700人上回りました。



②年間有収水量



平成30年度実績値は推計値を約158万m³上回りました。



※ 上記①、②の推計値は、中期経営計画に掲載している配水計画値(平成26年12月推計)です。

2. 財務状況

【1】収益的収支の状況

(単位:百万円)

区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
収益的 収支	収入	給水収益	25,448	25,561	25,593	25,597	25,607	
		水道加入金	1,171	1,159	1,313	1,402	1,452	
		他会計補助金	370	335	351	359	351	
		長期前受金戻入	1,396	1,403	1,402	1,348	1,321	
		その他の他	1,439	1,254	1,331	1,529	1,396	
		計	29,824	29,712	29,990	30,235	30,127	
	支出	人件費	2,939	3,011	3,365	3,225	3,111	
		物件費	6,369	6,817	6,712	6,540	6,499	
		受水費	6,946	6,337	6,295	6,282	6,277	
		減価償却費	7,301	7,320	7,366	7,465	7,639	
		支払利息	1,464	1,367	1,260	1,156	1,048	
		その他の他	5,134	1,251	2,269	1,902	985	
		計	30,153	26,103	27,267	26,570	25,559	
		当年度純損益(税込み)	△ 329	3,609	2,723	3,665	4,568	
	当年度純損益(税抜き)	△ 830	3,033	1,989	2,944	3,944		
	その他未処分利益剰余金変動額	31,433	—	1,630	1,989	2,944		
	利益剰余金 (△ 欠損金)	30,603	3,033	3,619	4,933	6,888		

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、当年度純損益(税抜き)、その他未処分利益剰余金変動額及び利益剰余金については消費税及び地方消費税抜きの額です。

※ 平成26年度のその他未処分利益剰余金変動額314億34百万円は公営企業会計制度の見直しによるものです。数字上では利益剰余金が増加しておりますが、新たな現金収入が発生する訳ではないため、会計制度見直し前と比べて経営実態に変化はありません。

※平成30年度の利益剰余金68億88百万円については、29億44百万円を資本金に組み入れ、39億44百万円を減価積立金に積み立てました。

【2】資本的収支の状況

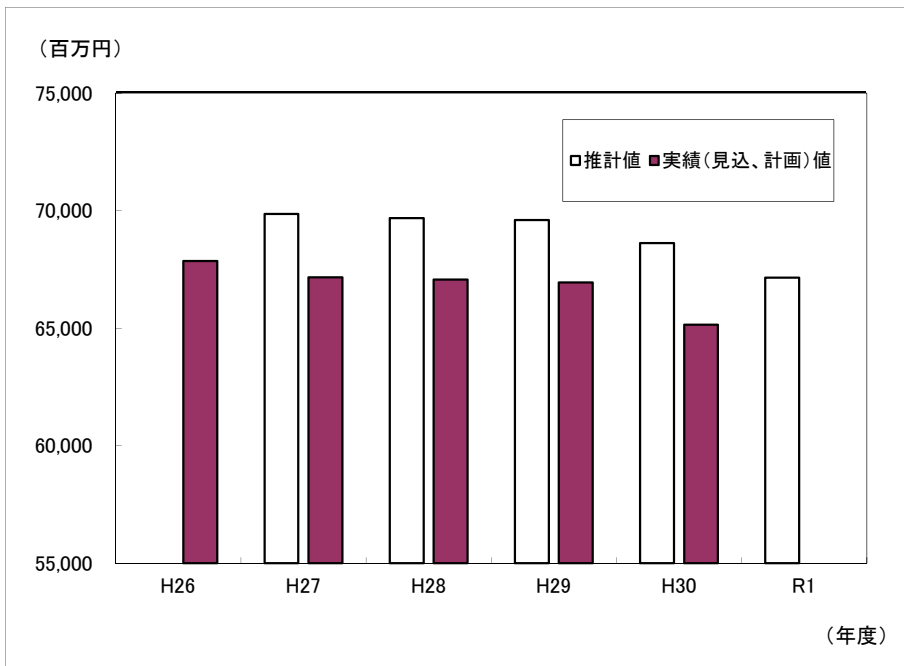
(単位:百万円)

区分		年度	【参考】	中期経営計画期間				
			計画前年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	
資本的 収支	収入	企業債	3,020	4,135	5,148	5,433	3,927	
		出資金	496	665	644	681	541	
		国庫補助金	124	216	121	241	478	
		その他の他	515	543	424	395	444	
		計	4,155	5,559	6,337	6,750	5,390	
	支出	建設改良費	8,013	8,894	10,730	10,315	9,393	
		企業債償還金	5,078	4,837	5,238	5,552	5,726	
		その他の他	0	0	0	0	0	
		計	13,091	13,731	15,968	15,867	15,119	
		収支差額	△ 8,936	△ 8,172	△ 9,631	△ 9,117	△ 9,729	
	補てん財源	14,120	15,055	18,102	19,311	21,210		
	累積資金剰余額	5,184	6,883	8,471	10,194	11,481		
	企業債残高	67,866	67,164	67,074	66,955	65,156		

※ 消費税及び地方消費税込みの額です。ただし、補てん財源、累積資金剰余額及び企業債残高については消費税及び地方消費税抜きの額です。

【3】中期経営計画策定時の推計値と現況との比較

①企業債残高

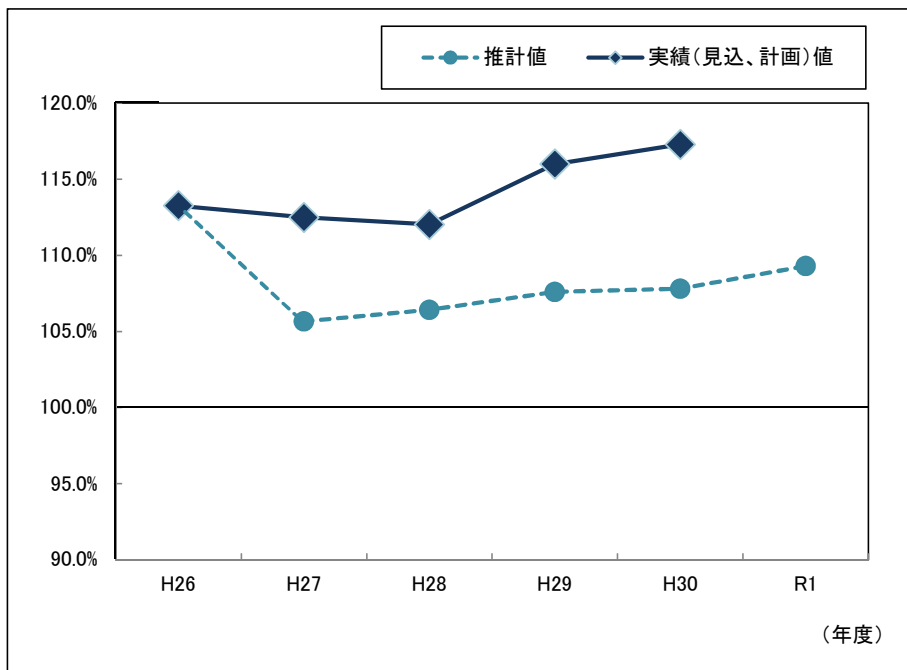


平成30年度実績値は推計値を約34億7千万円下回っており、財務状況の安全性が着実に高まっていることが分かります。

※企業債
水道施設などの建設、改良などに要する資金に充てるために発行する地方債で、一般企業における社債及び長期借入金にあたりません。



②経常収支比率（中期経営目標）



平成30年度実績値は前年度に引き続き100%以上であることから、財務状況は健全であると言えます。

※経常収支比率
経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、100%以上の場合は良好な経営状態であると言えます。



※ 上記①、②の推計値は、中期経営計画に掲載している財政収支計画に基づく値（平成27年3月推計）です。